

令和6年11月（第4回）経営協議会議事要旨

日時 令和6年11月20日（水）13時30分～14時57分

場所 本部棟第一会議室（ウェブ会議システム「Microsoft Teams」を併用）

出席者 14／15

（学外委員）板東久美子、松尾泰樹、中村正芳、川崎誠治、水田美由紀、松田正己、加藤貞則、梶谷俊介の各委員

（板東久美子委員及び松尾泰樹委員は、ウェブ会議システム「Microsoft Teams」を使用して出席）

（学内委員）那須保友（学長）、三村由香里（理事）、菅 誠治（理事）、前田嘉信（理事）、袖山禎之（理事）、阿部匡伸（理事）の各委員

欠席者

（学外委員）伊東香織委員

（学内委員）なし

陪席者

松本光雄（監事）、小原真紀子（監事）、佐藤吾郎（副理事）、伊藤武彦（評価センター長）

○ 議事に先立ち、学長から、令和6年5月1日付けで着任し、業務の都合によりこれまで欠席であった中村正芳委員の紹介があり、中村委員から挨拶があった。
引き続き学長から、令和6年11月1日付けで着任した松尾泰樹委員の紹介があり、松尾委員から挨拶があった。

○ 議事要旨の確認

令和6年9月開催（第3回）の議事要旨（案）について、原案のとおり承認された。

○ 議事

1 審議事項

（1）諸規則の改正について

三村理事から、資料1に基づき、国立大学法人岡山大学職員給与規則の一部改正について提案があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

関連して、委員から、法的安定性の観点から、規則等の改正における遡及適用は必ずしも望ましくないとの指摘があり、今後は十分留意することとした。

なお、本件は、11月開催の役員会において審議することとなった。

（2）令和6年12月期期末特別手当に係る業績勘案率について

学長から、本件の議題説明に先立ち、病院の厳しい財務状況に鑑み、病院所属教職員及び学術研究院医歯薬学域の臨床系教員について、令和6年12月期期末勤勉手当・業績年俸における成績優秀者の配分数を通常の半数程度に抑制すること、また、約30

年ぶりの高水準な賃金引き上げとなっている令和6年人事院勧告への対応について、種々の状況等を踏まえて総合的に判断する必要性から、1月に後ろ倒しして審議することについて、説明があった。

学長からの説明を踏まえて、三村理事から、資料2に基づき、「期末特別手当への業績反映の仕組」の概要説明の後、役員令和6年12月期期末特別手当に係る業績勘案率について提案があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

関連して、委員から、本学の財務状況の悪化の様々な要因に関して、一法人として改善に取り組むべき事項と、全国の国立大学法人全体の構造的な問題として国に対応を掛け合うべき事項とを、しっかり区別して対応していく必要があるとの意見があった。

委員から、2024年度は国立大学病院全体で赤字額が260億円に上り、大半の国立大学病院が赤字見込みである旨の国立大学病院長会議による会見の報道を踏まえ、他大学においても本学と同様の対応が取られているのかとの質問があり、前田理事から、現時点では、そのような状況は聞き及んでいないとの発言があった。

(3) 令和5年度に係る自己点検・評価について

三村理事から、資料2に基づき、令和5年度に係る自己点検・評価について、学校教育法第109条に基づき、評価センターの協力を得て自己点検評価書(案)を作成し、令和6年11月11日(月)開催の大学経営戦略会議において検証を行った旨の説明があった。

続いて、三村理事の指名により、伊藤評価センター長から、各推進責任者から報告された自己点検・評価の結果を評価センターにおいて検証の上、自己点検評価書(案)としてまとめたこと、全79項目のうち、「適切である」と判断された項目は62項目、「注意が必要」と判断された項目は17項目、「改善を要する」と判断された項目は該当がなかったこと等の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

委員から、全学における検討課題として挙げられている学生1人あたりの図書費(電子書籍含む)が大幅に国立大学平均値を下回ったことの原因について質問があり、管理理事から、学生の図書館利用頻度は高い水準である一方で、貸出冊数については、令和5年度において減少傾向が見られた旨の発言の後、那須学長から、高騰する電子ジャーナルに相当程度の予算を投じたことが要因として考えられる旨の発言があった。

なお、本件は、11月開催の役員会における審議を経て、評価センターホームページにおいて公表することとなった。

2 報告事項

(1) 医学部医学科の臨時定員増について

三村理事から、資料4に基づき、9月に持ち回り開催により審議した令和7年度における医学部医学科の臨時定員増(地域枠:7名)について、文部科学省から、設置計画を可とする通知があった旨の報告があった。

(2) 第4期中期計画に係る評価指標のモニタリング結果について

三村理事から、資料5に基づき、第4期中期計画に定められた評価指標に係る令和6年8月末時点の指標達成の見通しを取りまとめた結果について、「既に達成」8件、「順調に進捗」17件、「概ね進捗」4件、「課題あり」0件との報告があり、概ね順調に進捗していると判断している旨の報告があった。

なお、「2：概ね進捗」とされた評価指標のうち、13-1(1)「民間由来の外部資金収入伸率」については、40%増という高い目標を掲げていることから、全学を挙げての取組みが必要であると認識しているとの発言があった。

(3) 令和6年度における「国立大学法人ガバナンス・コード」の適合状況等について

三村理事から、資料6に基づき、令和6年度における国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況等を確認した結果、すべての原則及び補充原則について適合（コンプライ）であると判断し、その報告書（案）について各種会議体における意見照会及び審議を経て機関決定した上で、当該報告書を本学HPにおいて公表したことについて、報告があった。

続いて、三村理事の指名により、佐藤（吾）副理事から、資料6に基づく詳細説明の後、本報告書については、一般社団法人国立大学協会の指定様式により、同協会の指定する原則及び補充原則について本学HPにおいて公表した後、そのことについて同協会への報告を行った旨の説明があった。

3 その他

(1) 次回開催日について

今回は、1月29日（水）13時30分から開催することとなった。

以上